



株式会社バンダイナムコホールディングス

プロジェクト名 ～楽しみながら、楽しい未来へ～ The BANDAI NAMCO Lifestyle Project

実施予定期間 平成23年4月1日～平成25年3月31日

実施目的 一人ひとりの社員が仕事だけでなく、自身のプライベートを充実させることにより、企業・社員双方の成長を促し、ひいては世界中の人々に夢と感動を与えることのできるグループを目指す。

バンダイナムコグループらしく、楽しみながら、働き方の改革を

東京モデル事業に応募した経緯について、人事部ゼネラルマネージャーの林徳文氏は次のように語る。「育児支援等の制度は整備されていましたが、経営統合を契機にさらに環境を整えていこうとしました。また、購買層の中心がお子さまのいるご家族である当社にとって、少子化はマーケットの縮小を意味しますから、『少子化打破』は、当社にも大きく関わる課題です。そこで、通常5年かかる取組を、2年に縮めて前進しようと考えました。」

プロジェクト作成に際しては、様々なアイデアを精査し、業務の見直し、仕事と育児等との両立、プライベートの充実・自己啓発という3本柱に絞り込んだ。

業務の見直しに向けて

もともと、「遊び」を仕事とする同社では、遊びと仕事が渾然一体となっている部分もあり、「もっと仕事をしたい。」という社員も少なくない。しかし、社員の健康や生活を大切にするためにも労働時間の縮減は欠かせず、様々な解決策を考えた。

まず業務の見直し。社外モバイル端末から社内共有スケジュールへのアクセスを可能にし、日程調整の簡略化を目指す。メールや様々な事務の申請・承認も社外で可能にする予定だ。

また、「打ち合わせの鍵」として、会議の目的、進行役の設定等といった十分な事前準備の重要性を周知。ファシリテーター研修

で会議運営スキルの向上にも努めている。さらに、高い業績評価を受けながら残業が少ない社員をプラス評価し、時間内に成果を上げることの大切さを社内に発信している。

仕事と育児等との両立

同社は、仕事と育児等との両立にも熱心だ。今年の冬から、夏休み等の長期休暇期間、社員の子どもを預かる「キッズルーム」を本社に開設する。また、この10月から、「出産祝い金」制度を「出産・子育て支援金」としてリニューアルした。第3子以降が生まれた社員に200万円を支給するが、出産後56日以内に1週間以上の育児休業の取得と「子育てレポート」の提出を条件とし、男性社員の育児への参加を促進する。当初、出産後1年以内の休業取得を条件とする予定だったが、経営層からの「子育ては、生まれてすぐが大変なんだ。」との助言で、56日以内になったという。

さらに、不妊治療や子どもの不登校等に対応するためのフレックスや時短制度も導入。「家族との生活全般を会社はサポートする。」という姿勢を明確に打ち出した。

プライベートの充実・自己啓発

同社では、業務終了後に、英会話等を学ぶことができる社内カルチャースクー



グループ管理本部 人事部
ゼネラルマネージャー・林 徳文さん(左)、人材育成チーム・大竹 美沙子さん(右)

ルの開設も準備している。仕事に没頭しがちな社員に、違う世界や出会いを経験させ人生を豊かにしてもらおうのが狙いだ。特に目を引くのは、社員が講師になるという点だ。大竹氏は語る。「皆、多様な才能を持っているので、教えられる人がいるはずと考えました。それに、教えることで自己啓発やプレゼン力の向上にもつながりますよね。」また、「心のコミュニケーションをすることで、仕事にもよい影響が出るんです。」と林氏。

プロジェクト推進のポイント

人々に夢と感動を与えることを理念とする同社では、働き方の改革も、「楽しみながら」を念頭に、「こんな工夫をしたら仕事ももっと楽しくなる。」というポジティブリスト化を心がけている。林氏は、同社の社風を踏まえてこう語る。「トップダウンよりも、皆が効果を感じ納得しながら広めていく方が、当社の社風に合うんです。一人ひとりが納得して自発的に進めていけるよう、見守りながら支援していきたいと考えています。」

企業概要

株式会社バンダイナムコホールディングス

所在地：東京都品川区東品川 4-5-15

事業内容：バンダイナムコグループの中長期経営戦略の

立案・遂行

グループ会社の事業戦略実行支援・事業活動の管理

URL：http://www.bandainamco.co.jp/